



## アートワークショップに参加しませんか？

東日本震災後、東松島市に各地より千羽鶴などの品々が復興を応援して寄せられました。そのうち多くのものが、これまでの間、市内のディスカバリーセンターにて大切に保管・展示されてきました。しかし、震災より約9年の月日を経て劣化しているものも少なくありません。そこで東松島市と合同会社コミュが、2018年より、これらの品々に込められた思いを、いかに未来に繋げていくか、検討をおこなってきました。

その結果、これらの品々を写真集「3.11メモリアリア」に記録しました。そして、「繋げる事」をテーマに制作活動を続けるアーティスト野老朝雄氏とコラボレートし、一部分をアート作品として震災復興伝承館に常時展示できるよう準備をすすめています。

アート作品を制作するにあたり、ぜひ市民の方にも参加していただき、みなさんにとって思い出深い作品づくりができればと思っています。

第1回ワークショップ：2020年2月11日（10時から約1時間半）

第2回ワークショップ：2020年3月11日（時間未定）

場所：震災復興伝承館

問い合わせ：東松島市政策事業推進室 ☎0225-82-1111（内線1472）

合同会社コミュ (COMU LLC)

コミュニティの持続的な発展のために2016年に設立。小平裕子(1981年東京出身)と鶴岡信太郎(1978年愛知県出身)による建築家ユニット。英国で建築教育を受け、世界各地でプロジェクトを実施してきた二人は、東日本大震災の発災をきっかけに、2012年より被災地の東北を活動の中心とし、その復興を後押しするため、ハード、ソフトの枠組みに捉われない創造的な切り口でまちづくりのプロジェクトを実施してきた。主なプロジェクトに東松島市とバンダアチ市の相互復興を目指す「コミュプロジェクト」、復興と野蒜石産業の記憶によってつくられた「メモリアルベンチ・プロジェクト」、集団移転地でみんなのものをみんなでつくる「コミュニティファニチャー・プロジェクト」など。

野老 朝雄

1969年東京生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。主な作品に、大名古屋ビルテック下層部ファサードガラスパターン、東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレム、文京区シンボルマークなど。2016年~東京大学工学部非常勤講師

文、写真、グラフィックデザイン：合同会社コミュ

